

読売新聞
平成27年3月1日掲載

病院の実力

～長野編 86

病院の実力「膀胱・腎細胞がん」

医療機関別2013年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	膀胱がん全摘手術(件)	膀胱がん経尿道的切除術(件)	腎細胞がん全摘手術(件)	腎細胞がん部分切除(件)
長野				
長野市民	10	146	12	12
信州大	12	69	34	22
伊那中央	6	103	5	2
飯田市立	1	77	5	0
長野赤十字	3	57	12	9
北信総合	2	68	1	0
安曇野赤十字	2	49	7	0
長野松代総合	3	48	5	0
飯田	0	21	0	—
健和会	—	1	—	—
群馬				
群馬大	22	157	35	26
伊勢崎市民	8	145	45	14
前橋赤十字	4	120	15	3
県立がんセ	12	111	12	2
善衆会	3	80	2	2
黒沢	1	70	1	—
公立富岡総合	1	52	17	1
公立藤岡総合	3	52	15	0
館林厚生※	5	51	7	4
太田記念	3	42	5	3
桐生厚生総合	2	40	9	1
山梨				
山梨大	12	234	61	26
県立中央	8	118	14	6
山梨厚生	5	83	10	3
市立甲府	3	69	7	7
岐阜				
大垣市民	18	146	49	12
県総合医療セ	6	130	16	14
岐阜市民	10	105	11	7
地・可児とうのう	4	73	13	2
中濃厚生	2	63	0	2
県立多治見	4	52	5	0
木沢記念	3	47	4	0
松波総合	5	27	14	2
岐阜赤十字	4	43	0	0
土岐市立総合	0	32	0	0
東濃厚生	0	6	0	0
愛知				
小牧市民	27	196	17	17
名古屋大	17	117	54	44
藤田保健衛生大	14	134	42	28
豊橋市民	16	134	48	2
名古屋第一赤十字	7	147	18	13
岡崎市民	3	151	15	5
名古屋市立東部医療セ	10	100	32	3
安城更生	8	101	24	7
名古屋市大	15	91	13	11
愛知医大	6	97	16	8
春日井市民	3	105	7	6
名古屋記念	4	100	14	2
刈谷豊田総合	6	86	15	12
地・中京	1	86	18	9
公立陶生	2	97	3	0
豊田厚生	11	75	6	9
一宮市立市民	0	79	14	0
トヨタ記念	7	50	10	7
県がんセ中央	10	42	11	5
大雄会第一	5	46	13	2
一宮西	0	47	4	0
知多市民	2	42	0	0
協立総合	1	37	2	0
藤田保健衛生大坂文種報徳会	1	28	2	1
中日	—	2	—	—

「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「—」は無回答または不明。
※2013年度治療実績

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は4月5日「耳・鼻・のどの手術」の予定です。

今回の病院の実力は、「膀胱がん」と「腎細胞がん」を取り上げる。一覧表では、二つのがんの治療件数の合計数が多い順に掲載した。膀胱がんの外科的治療としては、「経尿道的切除術」と

膀胱・腎細胞がん

尿に異常感じたら相談を

「全摘手術」がある。経尿道的切除術は「膀胱鏡」という特殊な内視鏡を尿道から入れ、膀胱を確認しながら電気メスでがんを切除する。一方、がんが進行して経尿道的切除術で取り切れない場合は、膀胱などを摘出する全摘手術が行われる。

膀胱は尿をためる袋の役割をしており、摘出すると尿をためることができなくなる。このため通常は、腸の一部を使うなどし、尿をためる袋や尿の通り道を作る手術も合わせて行われる。

膀胱がんは、水分など必要な成分を再吸収する「尿管」という組織にできるがん。他の臓器に転移がなければ、一般的には、がんができた臓器を摘出する「全摘手術」が行われる。腹部を切開する「開腹手術」、小さい穴を開けて行う「腹腔鏡手術」、小

さく切開し腹腔鏡などの手術器具を差し込む「ミニマム創手術」の三つの方法がある。一覧表には、これらの合計数を掲載した。

膀胱がんについて、上垣内崇行泌尿器科主任医長(41)によると、膀胱炎や尿管結石など異なる、痛くもかゆくもないのに血尿が時々出るのがある。全摘手術と同様、三つの

方法の合計数を掲載した。伊那中央病院(伊那市)では、泌尿器科の常勤医2人のほか、近隣の開業医らも交代で外来診療と手術のサポートに入っている。



伊那中央病院(伊那市)で泌尿器科・上垣内主任医長

特徴という。膀胱にできる腫瘍はほとんどが悪性だが、全摘が必要なケースは多くないという。「血尿などの異常を感じたら、まずは泌尿器科に相談を」と話す。

腎細胞がんの場合、同病院ではなるべく臓器を残すため、部分切除を優先している。上垣内主任医長が着任した昨年3月以降は、患者の体への負担を抑え、傷も小さくするために腹腔鏡手術を標準治療で行うようになってい